

令和元年度市長との小学校区意見交換会（曾野小学校区）記録

日時 令和2年2月15日(土)

午前10時～11時30分

場所 消防署

出席者 一般市民 46人

市長、副市長、総務部長、市民部長、健康福祉部長、建設部長、消防長、
教育こども未来部長、地域問題研究所 池田氏（コーディネーター）、
事務局（秘書企画課）

テーマ「第5次岩倉市総合計画策定に向けて」

1 あいさつ

2 第4次岩倉市総合計画基本計画の総括 秘書企画課主幹
第5次岩倉市総合計画の展望 市長

3 意見交換

(1) 安心していきいきと暮らせるまち（健康・福祉）

(2) 自然と調和した安全でうるおいのあるまち（環境・防災防犯）

【意見等】 保育園についていろいろな要望が出されていると思うが、この先5年間で1校区につき1園となる計画だと聞いた。現状や見通しについて聞きたい。

【意見等】 民間委託を進めているが、保育園についてはどうなのか。

また、健康寿命の延伸に関連してグラウンドゴルフをする人も多いが、南部中学校南側にはトイレがないので衛生面の充実をお願いしたい。

【意見等】 30～40代の人が市政に関わり合いをもつことが少ない。この先自治会活動等も継続していけるかどうか。そういった活動に関わることのメリットが伝わっていないので、義務的に関わるだけになっている。これは良くないことだと思う。積極的な関わり合いを生むには情報量が少ないので、そのあたりの情報をもっと公開していく必要があるのではないか。

【意見等】 インフラ整備は進んできている。老人クラブ以外の活動（サロン活動など）への補助・支援を利用する際の手続きが煩雑で活用しづ

らい。もっと自由に運用できるようにしてほしい。

また、老人クラブの旅行に市の中型バスを活用できる範囲を広げてほしい。台数の枠を拡大してほしい。

【市長】 公共施設が今後、一斉に老朽化していくことを見据え、公共施設再配置計画などを策定した。また、保育園についてはさらに独自の計画が必要であると判断し、懇話会において検討していただいた。そこにおいて一定の結論は出したものの、絶対にそのとおりになるわけではない。みなさんからご意見を聞きながら進めていきたい。

【副市長】 保育園を5年間で統廃合するという方針は持っていない。40年をかけて公共施設をどう整理していくか、10年ごとに期間を設けて進めていくことになっている。最初の10年は「希望の家」、「北部保育園と仙奈保育園の統合」、「東小学校の減築」の3つを当面の目標としている。

保育園と幼稚園については、岩倉では公立保育園7園と民間の幼稚園6園でずっとやってきた経緯がある。平成27年度に認定こども園の制度ができ、その際他の自治体では公立保育園を民間委託しようとする動きがあったが、岩倉では市内で実績のある幼稚園を運営する学校法人に認定こども園を担っていただくことになった。小規模保育所や私立保育園も開設していただいている。こういったことにより民間にお願いする範囲を広げてきた。

公立保育園は老朽化が進んでいる。岩倉市の体力を考えれば全てを建て替えるのは無理がある。駐車場の問題もある。北部保育園と仙奈保育園を統合するにあたっては少し大きめの園とし、駐車場についても整備をしたいと考えている。この新しい園の実績を見ながらその他の園については判断していきたい。

【市長】 民間のもつノウハウを行政サービスで活用できるものは活用していくが、責任を丸投げするものではない。全体を見ながら、最少の経費で最大の効果を上げることが我々の責務である。

健幸の「幸」には、心も体も健康で幸せな生活を送っていただくという思いがある。幸せは、仲間・居場所・生きがいなどがあって高められるものと考えている。グラウンドゴルフ、老人クラブやサロンの活動なども居場所づくりであるので、地域の皆さんでそれぞれの地域の居場所をつくっていただきたい。そのための補助や支援をしていきたい。総合計画の中にどの程度まで記載するかは検討の余地があるが、そういった考え方はしっかりと進め

ていきたい。

若い世代の市政への関わりや関心という点で、やはりアンケート等の回答が比較的高齢の人が多くことはよくある。しかし、回答してくれた若い人に今後、何らかの形で市政に参加していただく意思があるかどうかを尋ねると、参加意思を示す人も多い。総合計画の策定にも参加していただいている。市政情報についてホームページやSNSなどで発信しているが、まだまだ届いていないようである。しっかりと取り組み、市政に関心を持つ人をキーにして広げていきたい。

- (3) 豊かな心を育み人が輝くまち（生涯学習・教育）
- (4) 快適で利便性の高い魅力あるまち（都市基盤）
- (5) 地域資源を生かした活力あふれるまち（産業）
- (6) 市民とともに歩む ひらかれたまち（協働・行財政運営）

【意見等】 外国籍の人の割合が5%になり、さらに増えることも予想される。教育や学力面での格差が生まれることを心配している。また、共生していきたいと思うが、ごみの問題などでトラブルもあり、そういう気持ちになれない。この点についての考えは。

また、健幸都市の「幸」という考えはとても良いことだと思う。しかし、幸せはあくまで個人の心のことであるので、健幸づくり条例の中で市民に役割まで定めるのは強制しすぎではないか。

【意見等】 夢結橋西側の用水が2本走っているところの道路が一方通行になると聞いていたがどうなったのか。

【意見等】 土地利用方針図案が示されているが、住居拡大検討ゾーンの見込みを知りたい。

また、企業には税の優遇があるが、一般住居への優遇措置はあるのか。

【市長】 外国籍の人は今後も増えるだろうし、労働力としても頼ることになる。以前はブラジル国籍の人に偏っていたが、最近はアジア系をはじめ多国籍化している。言葉の問題は大きく、日常生活に支障が出ているところもあることは承知している。言語変換アプリの活用や、日本語ができる人をキーにした伝達などが考えられる。しっかりと対策を盛り込んでいきたい。

幸せは個人の問題という部分も確かにあるが、環境を整えるという面では公が担う部分、地域が担う部分があると考えている。

「幸」という文字を大切にしつつ、いろいろな考え方があることも認識したうえで進めていく。

夢結橋西側の交差点については、警察との協議の上、当初は信号を設置する予定となっており、交差点付近の用水に蓋を設置し改良工事も行った。しかし、南北方向の交通量の少なさを指摘されたため、まだ設置されていない状態である。信号が設置されたのちには流れをスムーズにするために一方通行にするということになるかもしれない。警察には引き続き信号設置をお願いしていく。

土地利用については総合計画と並行して都市計画マスタープランを作っているところであり、その中ではもっと細かく地域を分けて考えている。日本全体で人口が減っていくなかで、岩倉市としての見込みや住居の需要などをしっかりと見極める必要がある。区画整理などには莫大な費用がかかる。投入した予算に見合う成果が見込めなければ進められない。現状では市街化区域内にもまだ空いているところがある。まずはそういった土地を有効活用して住居を増やしていくのが基本。住宅の需要を見ながら慎重に対応していく。

優遇措置については、近居・同居に関して支援をしている。同居のほうが利用が多い。

【意見等】 夢結橋西側の交差点について、信号と通行形態のことは分けて考えるべきである。Y字型に道路を収束させて出入口を1つにしないと人身事故が起きる。いったん信号はあきらめるとしても、早く道路形態を変更したほうが良い。

【意見等】 岩倉団地は市の管理ではないが、団地を新たに建て替えれば人も増え、東小にも児童が増えるのではないか。

【市長】 通行形態の見直しについてはよく検討させていただきたい。必要であれば警察に話をしていく。

岩倉団地のリニューアルについてはURに対し提案・要望するなかで、話をしていきたい。東小には外国にルーツを持つ児童が多いが、一方で少人数学級ならではのメリットもある。一律の教育ではなく学校の特色を出して、その特色によって人が集まるようにしたい。

【ご意見カード】

・子どもの通学時、旗当番で城址交差点に立っていると信号無視など危険な運転

を見かける。事故が起きてからでは遅いので、見回りをするなど何とかしてほしい。